

○今年の作柄と来年に向けての対策

今年は生育期の高温少雨、収穫機の降雨と水稻にとって栽培が厳しい年になりました。来年は今年多かった高温障害や病害虫の被害を抑えるため、対策を取りましょう！



<竹田市内で発生が多かった水稻の被害>

①紋枯病の多発

竹田市では標高の低い地域(200～400m)で多く見られました。高温多湿条件が続く、多肥栽培下で被害が大きくなりやすい病気です。感染すると倒伏のリスクが高まります。

→今年多発した圃場は株周辺の雑草に菌が残っているため、来年被害が大きくなるよう防除しましょう。

(紋枯病に効果がある剤一例 苗箱処理:スクラム、本田防除:モンカット等)

②高温障害

出穂後の高温により不稔や登熟不良(乳白米等)で収量低下や未熟粒による品質低下がみられました。

→植物体を強くして暑さに負けないようケイ酸が含まれている堆肥や土壌改良材の散布を行いましょう。(ご不明な点があればご相談ください)

☆雑草が多かった圃場は収穫後の除草剤散布や春期早めの耕運で雑草の発生を抑制しましょう。

ヒノヒカリ良食味コンテストについて

今年豊肥地区のヒノヒカリを対象とした良食味米のコンテストを行います。参加希望の方は12月8日までに参加申込書とサンプルをご提出ください。

(詳しくは各グリーン店などに設置しているチラシをご覧ください)

ホームページにも情報を掲載しています。こちらをご覧ください！→

